

令和元年度FD・FSD研修会

テ ー マ	開 催 日	講 師 等	概 要
新任教員研修会	令和元年4月1日(月)	今野 弘学長他	① 建学の精神・教育理念とFD、② 就業規則、③ ハラスメント防止、④ 研究不正防止、⑤ 科研費等研究費使用要綱、⑥ 情報セキュリティー、⑦ 事務手続き関係、⑧ その他
『成績評価のガイドラインについて』	令和元年7月12日(金)	木戸 博 教務委員長	本学では、建学の精神、大学スローガンに基づき学生が身に付けるべき学士力として、6つの能力・スキルを定めている。これらの学士力を身に付けさせるための具体的な方針として、「AEGG ポリシー」を制定し、理念やポリシーを各授業科目に関連づけ、意識し、個々のシラバスにおいて、達成目標等の基準を示している。成績評価のガイドラインは、本学における成績評価の指針等それらを纏め定めたものである。
『PROG テスト体験実施並びに解説会』	令和元年9月13日(金)	米田 光明 主任研究員(株リアセック)	令和2年4月に1年生を対象に実施した PROG テストの分析結果、及び実際に体験し返却された結果表の見方について解説を行う。
『東北工業大学の安全保障輸出管理について』	令和元年10月31日(木)	守 和彦 本学研究支援センター事務長	我が国を始めとする主要国では、武器や軍事転用可能な技術等が、安全保障上懸念のある国家等に渡ることを防ぐため、国際社会が協調して厳格な管理を行っている。大学や研究機関においても必要な手続を確実に実施することが求められていることから、本学本学安全保障輸出管理規程に基づいて説明を行う。
シンポジウム 『人工知能社会におけるできる ビジネスパーソンの役割』 ～10年先の社会を見据えて～  共催 ライフデザイン学部 経営コミュニケーション学科	令和2年2月28日(金)	基調講演 山口 高平 慶應義塾大学工学部教授 パネリスト 山口 高平 慶應義塾大学工学部教授 菅原 利行 末澤山洞川院住職 佐々木 賢一 (株)トライポッドワークス 代表取締役社長 中津川 拓 七十七銀行 デジタル戦略部課長  モデレーター 岡部 雅夫 本学経営コミュニケーション学科長	今後、人工知能の急速な普及に伴い、社会の求めるビジネスパーソン像も大きく変化し、本学科の教育も質的な変化が求められると予想される。今回のシンポジウムでは人工知能に関する有識者を招き、10年程度先の人工知能社会を展望するとともに、今後の本学科の教育のあり方を探る。基調講演の後に、人工知能の利用者を含み様々な立場から人工知能と関わりを持つ方々によるパネルディスカッションを行う。
『教育の質保証シンポジウム』	令和2年3月25日(水)	基調講演 椋平 淳 教授(大阪工業大学)	本学における教育の質保証に向けた取り組みを、今後一層推進していくためには、質保証の現状と課題および今後の方向性について、学内教職員間で共通認識を得ることが不可欠となっている。他大学の取組事例を参考としながら、本学における質保証のあり方についてシンポジウムを開催する。